

人間発達研究所

発達保障学校 2023



対面で、オンラインで、新しい学びへ

人間発達研究所は、人間発達について学んだり研究したりする場を求めている人や若手研究者の拠点として1985年に誕生しました。発達保障学校は、その活動の成果を伝えつつ、共に次代の担い手を育成する“大学”を、とのねがいを込めて、2000年に開校しました。

目の前にいる子どもや青年はどのような発達のすじ道をたどり、その時々どのような援助が必要なのか？ 発達を学び、実践のあり方を考えあひ、社会のあり方を考えあう、ユニークな学校です。あなたもここで学ぶ楽しさを味わってみませんか？

事前学習会&説明会

テーマ： **発達・発達保障を学ぶ魅力（仮）**

日時：2023年5月7日（日）10:00～12:00

講師：松永朋子（運営委員、こども発達サポートカラフル）

形態：オンライン（Zoom ミーティング）

参加無料 ※録画の配信もあります

この企画は、事前学習会で発達を学ぶ意味を考え、その後各講師がコースの紹介をするというものです。新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが変更になることとともない、今年度は、一部のコースを対面開催、オンラインと対面併用のハイブリッド開催にします。

事前学習会&説明会の申し込みをされ、オンラインで受講の方には、研究所オリジナルの「ZOOM 受講の手引き」の案内をします。

事前に、zoom 接続テストもあります。

各コースには「世話人」がおり、受講をサポートします。

この機会に事前学習会に参加してみませんか？

※「事前学習会&説明会」の見逃し配信は、録画編集の期間を経てご案内します。

人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘 1-4-39 梅田ビル 3階

<http://www.j-ihd.com>

Email j-ih63su@j-ihd.com Tel/fax 077-524-9387

申し込みについて

申込締切 各コース開始 8 日前
受講申込書に
必要事項を記入の上、
人間発達研究所まで
お送り下さい。
インターネットの受付は
4月1日から。



申し込みサイトは
こちら

受講料

10 回コース/研究科

【一般】40,700 円（税込）

【会員】35,200 円（税込）

【25 歳以下会員※】

27,500 円（税込）

5 回コース

【一般】20,350 円（税込）

【会員】17,600 円（税込）

【25 歳以下会員※】

13,750 円（税込）

1 回コース

【一般】4,070 円（税込）

【会員】3,520 円

【25 歳以下会員※】

2,750 円（税込）

入門の入門コース

【一般・会員】9,020 円（税込）

【25 歳以下会員※】

6,600 円（税込）

※1997年4月2日以降生まれの
会員が対象です。
同時入会受付中。

入門の入門コース（乳幼児期・青年成人期）

オンライン開催 講義形式 3回（9:00～12:00）

【講師】安藤史郎（社会福祉法人 療育・自立センター）
武居 誠（社会福祉法人 びわこ学園）
松永朋子（こども発達サポート カラフル）



入職後 3 年くらいまでの方が対象です。乳幼児期から成人期を対象とする方まで、グループ分けもしながら学び合います。目の前で起こっている問題や悩みを発達的に読み解くとどうなるのか。そのような見方・考え方の入り口に立てることをめざします。ミニ講義を通して、発達や発達保障について基本的なことを学び、実践の楽しさや難しさについて、みんなで話し合しましょう。

発達入門コース

ハイブリッド開催 講義形式 5回（13:30～16:30）

【講師】高田智行（大津市総合保健センター）

「何のために発達を学ぶのだろうか？」からはじまって、乳児期から就学前までの発達の道筋を追いながら発達の基本を学ぶコースです。発達は「～歳の発達の特徴は…」というように定点で捉えるのではなく、つながりの中で捉えることでみえてくることがあります。そのみえてきたことをどう実践にいかすのか、乳幼児健診や障害児保育などの実践事例も交えて講義をすすめます。



実践を学びあうコース

ハイブリッド開催 ゼミ形式 5回（13:00～16:00）1回目は 9:30～12:30

【講師】 田村和宏（立命館大学）

日々向き合っている障がいのある子どもや青年の姿、とりくみ（活動や仕事）をコースに参加している多様な職場の人たちの眼でいっしょに解きほぐしてみませんか。自分の実践を多様な視点から見直してみることで、「わたしも、なかなかやん」と自信を取り戻したり、その実践がもつ価値を確認したり、子どもたちの内にある「ねがい」にも触れる、そして新たな発見や気づきに出会えるそんなコースです。具体的には、参加者が実践報告をします。その報告について、参加者みんなで議論しながら、時にテーマをもって討論を行います。自らの発達保障の実践の推進力や幅を広げていくコースだといえるでしょう。これまでの実践報告や昨年度のまとめなどをいろんな角度から学び直しませんか。また、実践報告からの学びだけではなく、簡単な文献読解や講師のミニ講義も必要に応じて行うゼミナールです。昨年は「徹底的に向きあう」ことがもつ力について話題になりました。



福祉政策コース

ハイブリッド開催 講義形式 5回（13:00～16:00）1回目は 13:30～16:30

【講師】 田村和宏（立命館大学）

参加者の日頃の疑問や関心を出発点に、日頃ピンとこない福祉政策について講師がやさしく解説し、そこから職場とくらしと実践をつなげて理解ができるように学習と意見交流を行います。そして、個人の姿や事業所の実践について、社会のあり方との関係で評価して、今日の社会のあり方や自分たちの実践が、いったいどの方向を向いているのか、主人公は誰なのかなどを見つめ直すことができる「発達保障の眼」をつけるようにしていきましょう。後半には、新たな制度の動きや予算編成、あるいは 2024 年度の報酬大改訂（介護・障害・医療）にむけての動きからの議論も用意します。昨年は、障害者総合支援法の中見直しについて議論しました。



発達基礎理論研究コース

ハイブリッド開催 ゼミ形式 10回 (13:30~16:30)

【講師】 荒木穂積 (立命館大学名誉教授)

田中昌人らの「可逆操作の高次化における階層-段階理論」の学習をすすめます。2023年度は、前半では「人間の発達」(『みんなのねがい』No.196-263:全54回,1985年-1990年)の乳児期後半の発達にふれた部分(第18回:No.214~第54回:No.263)をとりあげ、乳児期後半・幼児期初期の学習をすすめます。後半では田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断2:乳児期後半』大月書店,1982年を学びます。難解といわれる発達理論をゼミナール形式で集团的に学んでいきます。オプションで『夜明け前の子どもたち』や乳児期の映像を視聴する予定です。乳児期後半の発達を学習したい方、発達理論を学習したい方、実践者、大学院生、若手研究者のみなさん参加を期待しています。公開学習会・集中講義も別途計画します。今年度は「赤ちゃん研究と言語発達」の現状と課題(仮題)をテーマに企画をすすめる予定です。



発達診断方法論 基礎編コース (心理専門職コース)

オンライン開催 ゼミ形式 1回 (13:00~16:00)

【講師】 木下孝司 (神戸大学)

発達診断と、保育・教育の専門性に基づいた子ども理解には、方法論の相違もありますが、子どもの内面世界を読み解き、その願いや悩みを再発見するという目標は共有されるものです。発達診断に実践的な視点を導入して、子ども理解を深めていくのに必要な発達研究の方法を確認して、受講者の皆さんが発達診断において工夫されていることを交流します。



発達診断方法論 臨床編コース (心理専門職コース)

対面開催 ゼミ形式 5回 (13:00~16:00)

【講師】 松島明日香 (滋賀大学)

このコースは、発達診断において欠かせない基本的な概念の整理(講義、文献学習)と、事例を通しての学び(演習)の組み合わせによって学習していきます。新版K式発達検査を学んだことがある人、発達相談・発達診断に携わっている人が対象です。同時に「発達診断方法論基礎編コース」を受講されることをお勧めします。



研究科

ゼミと個別指導によって論文を書き上げます。2023年10月~2025年10月

【研究科長】 渡部昭男 (鳥取大学名誉教授)

【研究副科長】 山田宗寛 (小鳩会)

オンライン開催です。2年間で研究論文を書き上げ、『人間発達研究所紀要』に投稿することをめざします。2か月に1回程度の全体ゼミと発表会、指導教員とのやりとりで執筆を支援します。申し込みの際は研究計画を作成していただき、面接(オンライン)のあと受講を決定します。紀要への投稿は、先行研究やテーマの妥当性・独自性が必要な原著の他に、実践記録、事例検討、研究ノート、動向、報告、実践紹介、資料等があります。発達に関わる論文の場合は、心理学の基礎的学習を終えられていることが望ましいです。締め切りは9月末です。



コース	入門の入門	発達入門	実践を 学びあう	福祉政策	発達基礎 理論研究	発達診断 方法論 基本編	発達診断 方法論 臨床編
回数	3回	5回	5回	5回	10回	1回	5回
講師	武居誠 安藤史郎 松永朋子	高田智行	田村和宏	田村和宏	荒木穂積	木下孝司	松島明日香
開催 形式	オンライン	ハイブリッド	ハイブリッド	ハイブリッド	ハイブリッド	オンライン	対面
定員	20人	70人	15人	15人	15人	10人	10人
6月	18(日)	25(日)	25(日) 午前	25(日) 午後	17(土)		
7月		23(日)		30(日)	1(土) 22(土)		
8月		20(日)	20(日)	27(日)		19(土)	
9月	10(日)	24(日)			2(土) 30(土)		16(土)
10月		22(日)	22(日)	29(日)	28(土)		21(土)
11月	26(日)		19(日)	26(日)	25(土)		
12月			17(日)		16(土)		23(土)
1月					6(土) 7(日)		20(土)
2月					予備日 1月20日		17(土)

2023.3.13

実践が楽しくなる実践記録（集中講義）

対面開催 講義とワーク

【講師】 坂本彩（彩社会福祉士事務所）
竹澤清（NPO あいち障害者センター）

【開催日】2023年8月27日（日）12時45分～16時45分

【会場】大津市内

【受講料】一般 5,000円／会員 3,500円／25歳以下会員 2,000円



実践記録を書く——。「何」を書いたらいいの。「どう」書いたらいいの。日々の実践の一コマ、相手の思い、自分の思いを言語化できるようになること。10年後に読み返しても「生き生きとした姿が目に見え」ような記録を書くことをめざします。初任～中堅の人に。